

2014年(平成26年)の取りあつかい量は4979万トンで、そのうち国内の各地から大阪港へ運ばれてきた量は2762万トンです。また、大阪港から船で日本の各地へ運んだ量は2217万トンです。

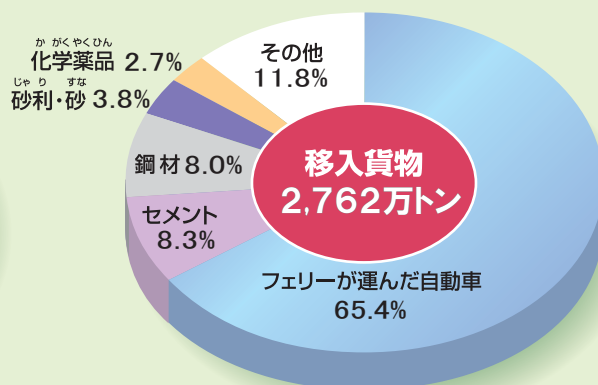
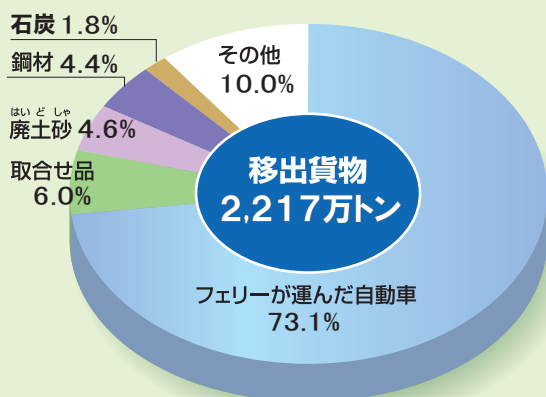
●貨物を積んで
フェリーに乗りこむトラック



大阪南港かもめフェリーターミナル

大阪港で取りあつかった貨物の種類と割合

(2014年)



(2015年大阪市港湾局調べ)

移出と移入の両方とも、半分以上はフェリーが運んだ自動車です。大阪港はフェリーの巨大なターミナルで、たくさんのトラックや乗用車がフェリーで運ばれています。

移出でもっとも多いのはフェリーが運んだ自動車(73%)ですが、2番目は取合せ品*(6%)、そして建設現場から出た廃土砂(5%)です。移入でも一番はフェリーが運んだ自動車(65%)で、次にビルや道路の建設などに使われるセメント(8%)、そして鋼材(8%)になっています。

いろいろな貨物が大阪港に集まり、日本の各地へ運び出されています。

●移出, 移入

移出は、国内のある地域から他の地域へ貨物を運び出すこと(大阪港から日本各地へ貨物を運び出すこと)。

移入は運び入れること(日本各地から大阪港へ貨物が運ばれてくること)。

●取合せ品

いろいろな種類の少ない量の貨物をつめ合わせでまとめたもの。

たとえば、ある貨物では、鋼材・紙・ビニールホースなどがつめられている。